

REIM産学連携コンソーシアム発足式及び合同会議

(表中敬称略)

会議名	REIM産学連携コンソーシアム発足式及び合同会議			
日時	令和元年12月16日(月) 13:30~16:30			
場所	一般社団法人近畿建設協会 会議室			
出席者				
カテゴリ	所属	役職	氏名	備考
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	理事長	霜上 民生	
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	理事・技師長	黒谷 努	
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	部長	先本 勉	
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	チーフ	小室 篤史	
連携企業	西日本高速道路株式会社	技術研修担当課長・茨城技術研修センター長	福富 章	
連携企業	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与(中央復建コンサルタンツ株式会社)	田底 成智	
連携企業	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与(株式会社エイト日本技術開発関西支社)	廣瀬 彰則	
連携校	福島工業高等専門学校	准教授	江本 久雄	
連携校	長岡工業高等専門学校	准教授	宮寄 靖大	
連携校	長岡工業高等専門学校	准教授	陽田 修	
連携校	福井工業高等専門学校	教授	阿部 孝弘	
連携校	福井工業高等専門学校	准教授	辻野 和彦	
連携校	福井工業高等専門学校	助教	樋口 直也	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	校長	内海 康雄	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	玉田 和也	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	講師	毛利 聡	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 園恵	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	総務課長	窪田 仁	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	事務補佐員	坂谷 真唯	(事務局)
代表校	舞鶴工業高等専門学校	事務補佐員	大田 誠	(事務局)
連携校	香川高等専門学校	准教授	林 和彦	
連携校	香川高等専門学校	特命助教	入江 正樹	
連携校	香川高等専門学校	事務補佐員	松山 哲也	(オブザーバー)
協力機関	独立行政法人国立高等専門学校機構	理事(研究, 情報)	安藤 真	
連携校	放送大学学園	副学長	池田 龍彦	
連携校	放送大学学園	課長補佐, 地域連携コーディネーター	樋口 徹	
協力校	国立大学法人長岡技術科学大学	教授, 学長補佐(高専連携担当)	武田 雅敏	
地域連携機関	京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会	副会長(京都府中丹広域振興局建設部長)	磯岩 潮	
地域連携機関	京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会	京都府中丹東土木事務所主査	木野 真一郎	(オブザーバー)

議事次第

1. REIM産学連携コンソーシアム発足式

- (1) 趣旨説明 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄
- (2) 挨拶 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事 安藤 真
一般社団法人近畿建設協会 理事長 霜上 民生 様
- (3) REIM産学連携コンソーシアム規約の制定
- (4) 講演 西日本高速道路株式会社 茨城技術研修センター長 福富 章 様
『NEXCO 西日本 茨木技術研修センターの施設概要及び活動状況』

2. REIM産学連携コンソーシアム合同会議（令和元年度第1回）

- (1) 議長を選出
- (2) 取組概要『KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』
舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科 教授
社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也
- (3) 各部会の体制構築について
- (4) 全体ディスカッション「建設業界におけるリカレント教育の必要性」

3. その他（今後の予定等）

- ・令和2年1月10日（金） iMe cフォーラム2019
13:30～17:00（開場 13:15） @キャンパスプラザ京都
- ・令和2年6月（予定） 次回REIM産学連携コンソーシアム合同会議

以上

【開催状況】



写真1 舞鶴高専 内海校長挨拶



写真2 国立高専機構 安藤理事挨拶



写真3 近畿建設協会 霜上理事長挨拶



写真4 NEXCO西日本福富氏講演



写真5 取組概要説明



写真6 コンソーシアム合同会議

REIM産学連携コンソーシアム発足式及び合同会議 議事録

(文中敬称略)

1. REIM産学連携コンソーシアム発足式

- (1) 趣旨説明 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄
- (2) 挨拶 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事 安藤 真
一般社団法人近畿建設協会 理事長 霜上 民生 様
- (3) REIM産学連携コンソーシアム規約の制定
 - ・REIM産学連携コンソーシアム規約案が出席委員に承認された。
- (4) 講演 西日本高速道路株式会社 茨木技術研修センター長 福富 章 様
『NEXCO 西日本 茨木技術研修センターの施設概要及び活動状況』

2. REIM産学連携コンソーシアム合同会議（令和元年度第1回）

- (1) 議長の選出
 - ・議長として、本取組代表校の校長である内海康雄委員が選出された。
 - ・内海議長により、福井高専 校長の田村隆弘委員が副議長に指名された。
- (2) 取組概要『KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』
舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科 教授 玉田 和也
社会基盤メンテナンス教育センター長
 - ・実務家教員の研修プログラムでは、研究倫理だけでなく技術者倫理の学修も重要。
- (3) 各部会の体制構築について
 - ・各部会の事務局は、本事業での実働部隊である“リカレント教育推進委員会”が務め、開発プログラムの原案作成や、開発プログラムの実証・検証など、実証することを想定。(資料3, 4参照)
 - ・建設コンサルタンツ協会では、鋼及びコンクリートの専門性、両方を兼ね添えた人物を部会委員として推薦する方針である。
- (4) 全体ディスカッション「建設業界におけるリカレント教育の必要性」
 - 論点1：各企業・団体におけるリカレント教育
 - ・京都府：経験年数に応じて内部研修を行う他、外部研修会の参加、外部講師の招聘など専門的な研修を実施している。最近は土木以外から就業した若手職員へは、中堅職員による研修などの取り組みをスタートした。
 - ・NEXCO 西日本：OJT, OFF-JT, 自己研鑽の3本柱。eラーニングのように場所を選ばずできるコンテンツも検討していきたい。資格取得の支援も行うなど、やるべきことは多くあるが、人材不足が一番難しい課題。
 - 論点2：建設業界としてのリカレント教育
 - ・近畿建設協会：ドローンやAI, 新しい技術も取り入れながらやっていくことが必要。実務

家教員の候補としてCVVがある。

- ・建設コンサルタンツ協会：ビジネスにはならないが、一方で、業界としてリカレント教育に取り組む必要性はあり、建設コンサルタンツ協会としてお役に立てると良いと考えている。シニアクラスが実務家教員になるのは現実的だが、現役世代が実務家教員になるにはクリアすべき課題がある。
- ・放送大学：クオリティの高い技術判断をできるシニアの方が、リタイアした後に、実務家教員として活躍いただくと良いし、現実的と考える。

■論点3：高専によるリカレント教育に求めること

- ・長岡高専：高専卒業後、目的意識を持ち再度学ぶことが大事。今後は、実務家教員も同様、学ぶ志を持っている人材を支えることが、組織のバックアップにつながる考え方も大事である。

3. その他（今後の予定等）

- ・令和2年1月10日（金） i M e c フォーラム 2 0 1 9
13:30～17:00（開場 13:15） @キャンパスプラザ京都
- ・令和2年6月（予定） 次回REIM産学連携コンソーシアム合同会議

以上